



地域の野菜収穫



地域清掃

中日青葉学園

児童養護施設 あおば館

児童心理治療施設 わかば館

地域に貢献する あおば館

私が青葉学園で働きて31年が経ちます。その当時と比べると職場環境をとりまく情報の速さ、求められる多様性や新たな価値観、児童福祉を取り巻く環境も大きく変化していると感じる中、昨年度新しい取り組みとして発足したのが「地域支援」です。

今までは地域の理解やボランティアの方々にサポートを受けることが多かった学園ですが、これからの児童福祉施設が目指す形の一つとして、受けるばかりではなく地域の中で何がお手伝いできるのか？

地域の方の求める施設として、より深い理解と必要性のために何が必要なのか？

毎月実施しているフードパントリーや、日進市社会福祉協議会を通じて定期的に発行している「餃子の王将」によるお子様弁当の配布など地域へのお手伝いとしての活動。子どもたちが同じ学区で生活する以上必要な自治会、PTA、子ども会への参加と協力等、施設の中で子どもたちと過ごすだけの仕事ではなく、将来子どもたちがいるべき場所に戻る際に必要となってくる地域とのつながりを伝えていくのも大切で、これからも地域支援課の役割と必要性をたくさんの方に理解していただけるよう努めていきたいと思っています。

(指導療育部次長兼地域支援課長 早崎幸代)



保護者コ



フードパントリー



フードパントリー



王将弁当



フラワーアレンジメント教室

青葉通信

第29号

発行
社会福祉法人
中日新聞社会事業団
中日青葉学園
電話 0561(72)0134

親子でPCIT(相互交流療法) わかば館

PCITとは、遊戯療法と行動療法に基づいた心理療法で、親(養育者)と子どもの相互交流の質を高め、子どもの情緒・行動面の問題の改善と育児支援を目的としています。親がイヤホン装着し、遊び場面でセラピストからリアルタイムで具体的な関わり方を受けられる点が特徴です。

現在、わかば館では2ケースを実施しており、日々の関わりの中で子どもの表情の変化や職員の関わり方の工夫が見られ始めています。今後も実践を重ね、より安心できる環境づくりにつなげていきたいと感じています。

(わかば館心理 鈴木明寿美)

PCITとは、二段階で構成され、前半のCDIでは子どものリードに従い関係性を深め、安心感や信頼関係を育みます。具体的賞賛・まね・繰り返し・行動の説明・楽しむ5つのスキルを使用し、命令・質問・批判は控えます。また「特別な時間」として家庭でも毎日5分CDIのスキルを継続して行います。

後半のPDIでは親主導で分かりやすい指示の出し方やしつけの方法を学びます。両方のス



PCITルーム

PCITとは Parent-Child Interaction Therapy (親子相互交流療法)

CDIとは Child Directed Interaction (子ども指向相互交流)

PDIとは Parent Directed Interaction (親指向相互交流)



家庭と同じ 養育を フォスタリング 里親支援



近年、国はさまざまな理由で保護者と暮らせない子どもたちには、家庭と同様の環境における養育の推進をしています。「家庭と同様の環境」とは、主に里親委託の推進です。

里親体験発表会では、実際に里子と生活をしてる里親の方に自身の体験談を話していただき、楽しい事も悩める事も、その方ではできない貴重なお話を聞くことができます。



体験発表会

日本では「里親」という言葉や制度の理解がまだまだ乏しく、啓発をしていると誤解をされている方が驚かれます。

里親登録家庭を増やすことを目指しつつ、里親家庭の中で育つ子どもたち、里親登録をしている家庭への

理解も広げ、地域の中で心地よく子どもが育つ養育ができる環境を作りたいと思います。

啓発事業だけでなく、里親登録を目指される方や登録更新の研修も中日青葉学園では担っています。三河地区の梅ヶ丘学園とオンラインをつなぎ、共働き世帯も登録ができるよう休日に研修を行っています。また、昨年度からは里親支援研修という里親登録をしている方々がスキルアップできるように内容の研修も行っています。

私は昨年度、児童養護施設あおば館からフォスタリング業務の里親副担当になり、今年度はリクルーターとなります。

様々な行政の方々や団体の方と出会い、ご協力いただき、たくさんの方と里親さんとも出会いました。

この事業は手探り状態から作り上げてきた阿尾部長、これまで出てきた多くの皆さんの支えがあって継続しています。ありがとうございます。

中日青葉学園は、までの経験を活かし、里親支援センターの設立も目指しています。

社会的養護を必要とする子どもたちが、安心して健やかにその子らしく育つことができるよう、子どもたちや里親家庭、里親登録希望家庭、実親家庭に寄り添い、それぞれの思いを大切にしながら、一緒に考え、歩いて行ける存在になっていきたいと思っています。

(フォスタリングセンター 里親リクルーター 奥村真夕)



あま市 パネル展示



三ツ菜 里親カフェ



令和7年度も多くの方々から 寄付や招待など応援をいただきました ありがとうございます

(順不同、敬称略)

チャリティゴルフ大会、中日新聞東刈谷専売店、溝口武志、大川直樹、クラスアート教室ボム、中日新聞保険サービス、澁谷由美子、日進電気、中日サービス、中日制作センター、中部日本ビルディング、共生印刷、丸新舎、中日企業中目ツアーズ、ヴァリアダックス、中日オフセット印刷、ナゴヤドーム、中日新聞印刷、中日ドラゴンズ、中日新聞、中日ショップ、中日総合サービス、中日総合サービス従業員一同、林由美、日進市農業委員会、兼松エレクトロニクス、中日興業、中日メディアプリンツ、根本英樹、洞泉寺吉田法明、東洋モーターラインターミナル、愛知県共同募金会、西尾中日サービスセンター、愛知県共同募金会、吉田康祐、後藤美貴、中日ネクス、知多PRセンター、福岡後援、則武衣代、大日本印刷、中部遊技商業協同組合、回胴式遊技機商業協同組合、酒井文雄、コストコホールセールジャパン山倉庫店、澤出勝則、Daska&Desire、土屋千尋、慈眼寺、都賀、MAEDADALMO、Grow Group、森田よね、ユコー論吉のからあげ、坂川紗莉、愛知県信用農業組合連合会、近藤産興代表取締役近藤昌三、石井よしき、飯塚満知子(愛知池友の会)、伊藤美保子、慶昌院、木下大サカス、豊田自動車織機、スーパーマのぶ代表取締役山田浩晃、名古屋ウエストライオンズクラブ、橋、中田島峰雄、大川直樹、中部善意銀行、名古屋ソフトボール協会、山本リナ、三樹園代表取締役奥村保弘、フレブルラデュ長瀬岳二、大橋弘記、キリンビバレッジ、メーブル代表取締役横井良典、日本レコード協会、村瀬勝美、川本百合奈、村松泰平税理士事務所、JA愛知信連、全国シヤンメリ協同組合、中海淳夫、日本鏡餅組合、理事長樋口元剛、井澤真弓、CBCチャリティ募金、ムーランエムラン菊池知保、藤田医科大学、meito、ユニテックカンパニー、藤田医科大学病院、名古屋市中川区倫理法人会、崎山エロイゼ、FRAGRANCY、本所修、中海淳夫、近藤泰代、支援愛護協会TouchMe、吉重団、阪野豊、白龍神社、中田島峰雄、名古屋キワニスクラブ、中海淳夫、MPNリユニオン、杉尾正幸、野々山商事、渋谷杏美、愛知県信用農業組合連合会、カープスジャパン、中野まゆ美

訃報



令和2年より当施設にて尽力いただいた調理員の愛知美穂子さんが、去る5月7日にご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

私自身、通信の作成は今回で2回目となりましたが、元学園長をはじめとする皆様の協力のおかげで無事に完成させることができました。

現在、国の施策は施設の規模から、里親支援や地域支援の充実へと大きく舵を切っています。当学園もその流れを捉え、時代に即したアップデートを続けながら、地域に信頼される先進的な施設を目指して邁進してまいります。

(指導療育部長 阿尾尾晃)

退職(3月31日付)
辻本千絵美、西澤啓吾(あおば館)大倉野彩花、荒間夏千、松本伶大、西村静流(わかば館)